

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

研究開発課題名	Identification of host factors that support replication of hepatitis B virus for development of novel therapy
研究開発機関名	広島大学
研究開発代表者名	茶山 弘美

指摘事項

- 評価できる点
B型肝炎ウイルス（HBV）の遺伝子複製に関与する宿主分子 TARDP を同定し、創薬標的としての可能性を示したことは評価できる。国際雑誌に成果を発表していることも評価できる。
- 疑問点、改善すべき点
候補分子と HBV との結合を阻害する低分子化合物を探索及び早期の特許化を行う等、創薬に向けた研究活動の進展が望まれる。

以上